

hot news

## ふれあいから市役所は変わります おもてなしの心を大切にサービスを

上田市政の大きな柱である「市役所改革」。この一環として「ふれあいから私たち市役所は変わります！」をスローガンに、この春から全庁を挙げて「サービスタップ行動計画」がスタートしました。

具体的な取り組みは、あいさつの徹底や電話応対の改善、名札の着用、朝礼の実施など。市民から寄せられる声を踏まえ、職員一人ひとりが行動す

ることで市民の目に見えるところから市役所を変え、信頼を得ていくというものです。さらに現在、市役所の在り方について市民の視点から検討を重ねている「市役所改革市民会議」からの提言も反映していきます。

今後も、取り組みの検証を重ね、市役所改革の実現に向けた、継続的な取り組みを進めていきます。

hot news

## サクシユ琴似川のせせらぎが復活 北大構内に水にふれあえる空間を再生

「水枯れた河川の清流がよみがえる」——この春、平成十三年から北海道大学の構内で整備を進めてきた「サクシユ琴似川」の再生事業が完了しました。

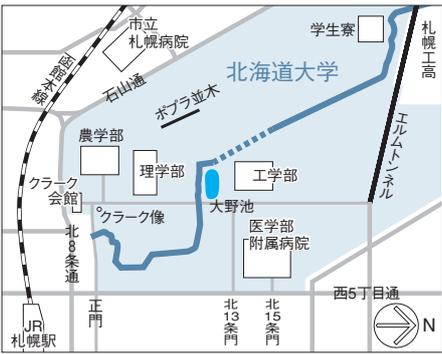
かつてはサケが遡上したという「サクシユ琴似川」。しかし、都市化の進展に伴う地下水の低下により、戦後には、水源が枯渇。その後は、水路の一部が埋め立てられるなど川の姿が失われていましたが、近年の環境保全の高まりを受

け、北大と共同でせせらぎ復活の再整備を進めてきました。

河川の全長は二千四百四十メートル。北大正門周辺から環状通エルムトンネル付近まで、当時と同様に北大構内を南北に貫きます。水源は、中央区内にあ

る藻岩浄水場の放流水を有効活用するとともに、廃止する水道管を再利用して北大の南端まで水を導きます。

また、エルムトンネル付近を中心に、新たに遊歩道や緑地も整備。連休明けの通水後



は、昔をしのぶことのできる憩いの場として、学生はもちろん、多くの市民や観光客が訪れる新名所となります。  
詳細 河川課 ☎(211) 2627

詳細 市役所改革推進室 ☎(211) 2061

おもてなしの心を大切に、  
3つの「アイ」で  
親切な対応を徹底します。

ふれあいは3つのアイから

私〔アイ〕が  
あなたの目(EYE)を見て  
親愛〔アイ〕の情をもって

hot news

## 手稲山口で第二斎場の建設が始まる

### ●本市初のPFI方式を導入



施設の完成で、西部、北部方面に住む市民の利便性が向上します

平成九年から事業計画を進めてきた「(仮称)第二斎場」の建設に着手しました。民間の資金とノウハウを活用して公共施設を建設・運営する「PFI方式」を整備手法に用いた本市初の事業となります。

建設場所は、手稲区手稲山口に位置する約四万平方メートルの市有地。総面積一万二千八百平方メートル、地上二階建ての建物には、ダイオキシンの排出を抑制する最新の火葬炉を二十九基設置するほか、随所にユニバーサルデザインを採用。雪冷房システムも活用するなど、人と環境に優しい設計となっています。

PFI方式を導入した整備

手法には全国的な注目が集まっています。具体的には、市が無償で貸与する敷地に、入札により決定した企業グループの設立した特別目的会社が設計、建設から管理、運営までを一貫して行い、二十年後には、市に施設の所有権を譲渡することが決まっています。

また、公共事業に民間の経営手法を持ち込むことで、事業費が大幅に抑制されます。今回の整備では、建設費と二十年間の管理・運営費を合わせて約五十億円の節減効果が見込まれています。

施設の完成は、平成十八年四月の予定です。

詳細 生活環境課 ☎(211) 2862

※PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ) = 公共施設の建設、維持管理、運営などを民間の資金、ノウハウを活用することで、効率的にサービスを提供できる手法